



雪の季節は楽しいことが  
いっぱい!  
さあ、国際協力も  
一緒に楽しもう!

## 北海道の国際協力情報紙

特集

# 全国初、 ユーバーナル・デザインの 救急救命表示板を広めよう。

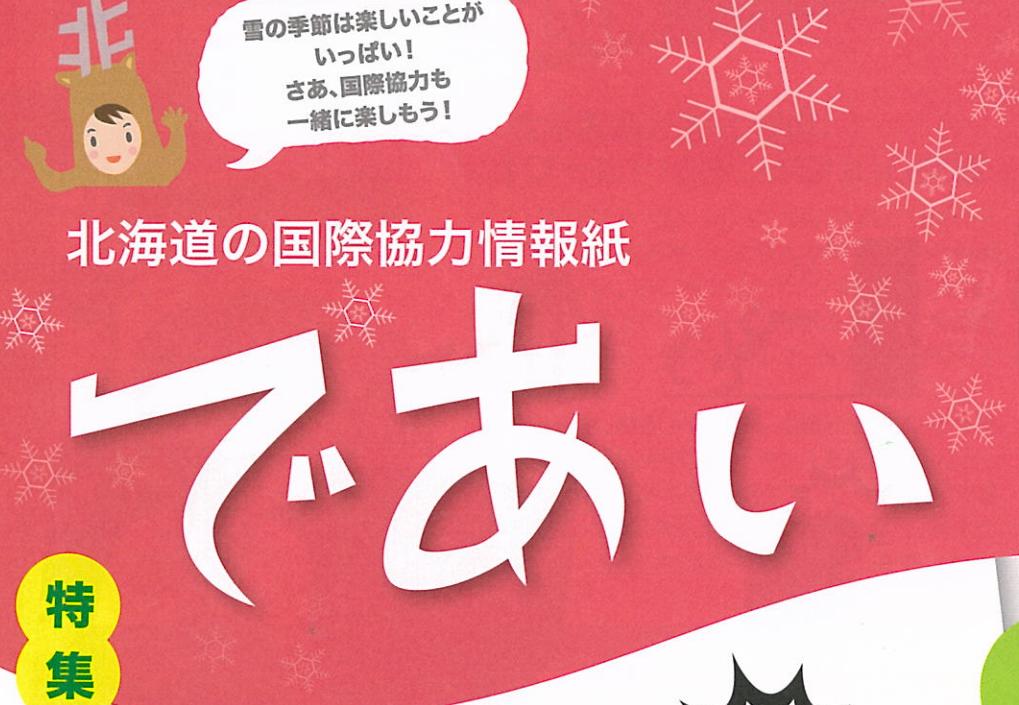
毎年12月5日は  
国連が定める  
国際ボランティアの日  
なんだよ。



### 日本で暮らす外国人が 増えています

世界ではグローバル化・ボーダレス化が益々進み、世界中の人々の動きが国境を越え様々なところで活発になってきています。それに伴い、モノや情報の動きも活発になってきており、それらがもたらす人々の価値観や生活は実に多様化しています。北海道も例外なく、旅行で訪れる外国人、または生活をしている外国人の数が年々増加する傾向にあり、地域に住む人々や環境も多様化してきています。

外国人が日本に住むにあたり、言葉の壁そのこと自体は日常生活において特に大きな障害にはなっていないようですが、滞在状況、周りの環境によっては、言葉はやはりコミュニケーションの大切な道具になることがあります。こうした中で、我々日本人には何ともない事でも、外国人にとってはちょっとした問題になり得る様々なケースが存在しています。



jica ジャイカ

2009  
WINTER

VOL.55



これらのカードは  
日本語が話せない外国人が  
急病や怪我をした時に  
救急救命士が状態を聞く時に  
使います。



▲カードのデザインに対し、外国人からアドバイスをもらう

### 「避難場所はどこですか?」

例えば、地震などの自然災害があった時、日本では地域によって各避難場所が決められており、住民にも情報として周知されています。では、同じ地域に住む外国人に対してどのような情報がきちんと行き届いているでしょうか。情報がある日本語のみであるなどの理由で、万が一の時に日本語を理解しない外国人は避難することができなくなり、災害弱者となってしまう可能性があります。更に、急病や怪我を負った時はどうでしょうか。救急隊員が駆けつけ、迅速な対応が求められる時に、言葉が原因で救命活動が遅れてしまうようなことが起きないでしょうか。

// 答えはこの中から選んでね! //

# それぞれのカードの意味を当ててみよう

① 頭が痛いですか?

② 歩けますか?

③ 妊娠しているのですか?

④ 高いところから落ちましたか?

⑤ お腹が痛いですか?

⑥ 首が痛いですか?

⑦ 感電しましたか?



## 救命士が現場に駆け付けた時に

そこで北方圏センターは、平成20年度から、北海道、千歳市消防本部、北海道消防学校並びに自治体国際化協会の全面協力をいただきながら、「多言語対応救急救命表示板設置事業」(以下、カードという)を行っています。これは、北海道に滞在している外国人が怪我を負ったり急病になったりした時のために、言葉を選ばず、誰でも理解できるユニバーサルデザインを用いたイラストを使って、専門知識を持った救急救命士と急病または怪我を負った外国人の意思疎通を図るためにコミュニケーションツールとして作製したもので、言語を介さない救急救命ツールとしては、全国初のものです。

▶手を握りますか?



▲検証会の様子



▶胸が痛みますか?



▶腕を挟まれましたか?



▶火傷しましたか?



## 道内、54消防本部に配付

この表示板の作成にあたっては、救急救命士の意見・希望を取り入れ、その大きさやカードの枚数をまず検討しました。実際の救急現場で頻繁に遭遇する急病や怪我はどういったものがあるのか、救命士は現場に駆け付け先ず何を確認するのかなど、カードにする項目を検討しました。

また約20カ国のJICA研修員を中心とした外国人に対する理解度検証会を実施しながら、何回もデザインの改訂を重ねました。例えば、「病院に行きますか?」というカードがあり、その意志確認を我々日本人が普通に理解する「○」と「×」を用いたところ、外国人にはサッパリ理解されませんでした。逆に「×」が「YES」の意味になってしまふのです。デザイナーの方にもかなりの苦労をかけたことと思います。

理解度検証会に参加してもらった外国人の皆さんからも、どのようなデザインにすればより理解しやすくなるか、全てのカードに対し貴重な意見をたくさんもらいました。度重なるデザインの改訂を繰り返し出来上がったカードは100%ではないものの、外国人の方々からもかなりの理解を得ることができる様になりました。そして、2ヶ月間の千歳消防署での試行期間を経て、平成20年度2月、希望する全道の54消防本部(全67本部中)へ配付し、各本部が所管する救急車へ設置しました。

北方圏センターでは平成21年度も本事業を継続しており、配付した各消防本部から実際に使用した際の意見またはアドバイス等を広くいただき、カードのデザインへ反映することとしています。また、更にはこのコミュニケーションツールを北海道だけではなく、日本を訪れる、または生活している外国人の方々のために、広く全国へ普及していきたいと考えています。

(北方圏センター・交流部 小田島道朗)

それぞれの  
カードの意味は  
わかったかな?



(カードの答え) A.② B.③ C.④ D.⑦ E.⑥ F.⑤ G.①